

学習・教育目標とその到達度（経営情報学科／経営情報工学専攻版）

教育目標	準学士課程（経営情報学科）	専攻科課程（経営情報工学専攻）
(A) 好奇心と探求心を常にもち、新しい「もの」の創造・開発に向けて粘り強く努力を継続できる持続力を身につけること。（好奇心と持続力）		
好奇心と 持続力	基礎となる物理・化学の知識を身に付け、自然現象が理解できる。論理的なものの見方や考え方ができる。 課題に挑戦できる能力を有し、果敢に挑戦できる実践的能力を修得する。	社会の仕組みや実務問題を理解できる。総合的能力を有する開発型技術者・研究者に必要な能力を養う。
	（基礎知識）化学、物理、自然科学概論 （課題探求と実践的能力）経営情報研究ゼミ、卒業研究、校外実習	インターンシップ
(B) 情報技術をあらゆる場面に応用できる能力を身につけること。（情報技術）		
情報技術	情報リテラシ、基礎的な情報処理技術、および情報論理の基礎的な知識を習得し、各種データの解析ができる。	情報処理技術を習得し、情報技術を駆使できる。
	基礎情報処理論Ⅰ・Ⅱ、プログラミング論ⅠA・ⅠB、プログラミング演習ⅡA・ⅡB、経営情報学専門演習Ⅰ・Ⅱ、システム設計論Ⅰ・Ⅱなど	情報理論、オペレーティングシステム工学
(C) 幅広い知識や技術を集約して、新しい「もの」を立案できる能力を身につけること。（立案能力）		
立案能力	専門分野の知識を習得し、物事の立案に役立てることができる。	自分の専門分野だけでなく他分野も理解できる幅広い知識を持ち、具体的に“もの”をデザインできる。
	生産管理論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング戦略論Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、経営組織論Ⅰ・Ⅱ、経営管理論Ⅰ・Ⅱ、簿記概論Ⅰ・Ⅱ、知的財産法など	経営情報工学特論Ⅰ・Ⅱ、MOT入門、経営管理特論、経営情報学専門演習Ⅲ、経営管理工学、会計監査論、ネットワーク組織論など
(D) 社会の要求に応じて「もの」を実現できる能力を身につけること。（実現能力）		
実現能力	専門分野に関する応用的・先端的技術に触れ、“もの”の実現に必要な事項が理解できる。	工学に関する基礎的な技術や知識、さらに専門分野に関する応用的・先端的技術・知識を総合し、問題を解決し具体的な“もの”を実現できる。
	データベース論Ⅰ・Ⅱ、プログラミング論Ⅲ、情報システム論、Web コンピューティングなど	社会システム工学実験Ⅲ、経営情報工学特別研究、プログラミング特論、データベース応用など
(E) 現象を論理的に理解し、解析できる能力を身につけること。（解析能力）		
解析能力	数学や力学の基礎を学び、実験結果や簡単な自然現象、工学現象を解析できる。	高度な数学や専門分野の応用的・先端的技術・知識に加えて、専門分野以外の実験技術を習得し、事象・現象を総合的に捉え解析できる能力を身に付ける。
	基礎数学、解析、代数、応用数学、経営統計学Ⅰ・Ⅱ、経営工学ⅠA・ⅠB、経営工学ⅡA・ⅡB、多変量解析	社会システム工学実験Ⅰ・Ⅱ、線形代数、複雑系理論入門、実験計画法、金融工学など
(F) 社会的責任をもち、技術が人類や環境に与える影響を考慮できること。（環境と技術者倫理）		
環境と技術者倫理	社会、文化、歴史、政治経済を学び、豊かな教養と倫理を身につける。国際的な視点から物事を考慮できる。	技術者としての社会的責任や、技術が自然や社会に与える影響を理解し、幅広い見地の下で物事を考慮し、適切な判断ができる。
	現代社会、政治経済、世界史、日本史、倫理、文化と社会、社会科学Ⅰ・Ⅱ、外国事情Ⅰ・Ⅱ、国際経営論、特別講義、保健体育、芸術	技術者倫理、環境と社会など
(G) 的確な表現力とコミュニケーション力を身につけること。（コミュニケーション能力）		
コミュニケーション能力	作文、プレゼンテーション、ディベートができる国語力を身につける。コミュニケーションがとれる基礎英語力を習得する。英語力は、TOEIC300点取得を目指す。	日本語で研究発表できるプレゼンテーション能力を身につける。英語力は、TOEIC400点取得を目指す。
	国語、総合英語・英文法・英語演習・外国語演習・イングリッシュコミュニケーション（TOEIC-IP テストの受験）・英語表現など	日本語表現、英語、英語表現、経営情報工学特別研究（学外発表が修得要件の一部）など